

住中だより

第17号 令和2年12月17日発行

【懇談時配布】

大東市立住道中学校

校長 岡本 功

072-872-7351

HP 毎日更新しています！

『冬来たりなば春遠からじ』

3年生の進路選択もいよいよ大詰めです。私立高校の入試まであと2ヶ月足らずという時期になりました。

直近の進路希望調査によると、現時点で私立高校専願を考えている生徒は学年全体のおよそ25%、公立高校を希望している生徒はおよそ75%です。

私立高校専願生徒は具体的な受験校を決定し、公立高校進学希望生徒については私立併願校を最終決定していかなければなりません。

これらのことについて、今回の懇談で担任の先生と、またご家庭でお子様と十分話し合ってください。

また、公立高校受検生徒は、出願時に『自己申告書』の提出が必要となり、すでに国語科の授業などで準備が進められています。

今年度のテーマ

「あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。」

※各校のアドミッションポリシー（求める生徒像）を踏まえて記載します。

進路については一人一人の特性や学力、希望を十分に踏まえながら、学校として「進路指導委員会」を開くなど全体で考えていきます。

担任の先生を信頼し、コミュニケーションを図りながら最終決定をしてほしいと思います。

学校として義務教育の集大成のつもりでサポートしていきます。

来る4月の自分をイメージし、焦らず、あきらめず、今やるべきこと・できることを着実に実行していくことで道を切り拓いてくれることを期待しています。

1・2年生の皆さんには、1月13日実施の『大阪府チャレンジテスト』に向けて、改めて範囲表を懇談時に配布しています。再確認して、学習に生かしてほしいと思います。

進路説明会（1・2年生保護者対象）

11月26日（木）、1・2年生の保護者の皆様を対象に「進路説明会」を開催しました。

「少し早いのでは」と思われる保護者の皆様もいらっしゃるかもしれませんが、

- 進路選択に関する状況が早いスピードで変化しており、少しでも早い目にお伝えをしておきたい
 - 入試制度などがかつてと比べて複雑になっていることから、何度か説明会を開催して説明したほうがよい
 - 新型コロナウイルス感染症の状況により、今後説明会を開催することが困難になる場合もある
- と考え、今回開催したものです。

林進路指導主事から

- 進路選択のスケジュール
 - 入試制度
 - 本校生徒の進路状況
 - 評価・評定
 - アドミッションポリシー・自己申告書
 - 1・2年生でしておかなければならないこと、身につけておきたいこと
 - 奨学金
 - 英語検定
- などについて説明をしました。

保護者の皆様ご自身が中学生であった時とは、入試制度や評価の在り方など、大きな変更点があります。

しかしながら、進路選択にあたっての心構え、やるべきこと、大事なことは変わりません。

いざという時、自らを助けるのはよい生活習慣です。

学校生活の送り方、授業の受け方、家庭学習習慣、スマホの使い方、ものの考え方など、1・2年生時にしっかりと土台を作っておけば、進路に関して選択肢が広がります。

当日はおよそ90名の保護者の皆様にご出席いただきました。

ご家庭でも折に触れ、お子様と進路、将来の目標などについてコミュニケーションをとっていただくことで、お子様の学校生活、学習面がさらに充実したものになっていくことを願っております。

進路等に関しまして、ご質問がありましたら、いつでも学校にお問い合わせ

教えてください。

部活動

栄光を讃えます

○バドミントン部

大東市秋季大会

・団体戦 準優勝

(2年)

・2年女子シングルの部 優勝

3位

・男子シングルの部

3位

(2年)

・1年女子シングルの部 準優勝

3位

○男子ソフトテニス部

大東・四條畷・交野三市中学生大会 優勝

(2年)

○女子ソフトテニス部

大東市秋季大会 3位

(1年)

○陸上競技部

大東市秋季大会

・男子1・2年 4×100mリレー 2位

(1年)

(2年)

・男子1年 走幅跳 1位

・女子2年 200m 1位

・女子2年 走高跳 2位

・男子2年 100m 1位

・男子3年 800m 1位

・女子3年 100H 1位

五市秋季大会

・男子1年 走幅跳 (1年) 2位

・女子1・2年 200m (2年) 1位

・女子1・2年 走高跳 (2年) 2位

こんな『生徒総会』ができます

12月11日（金）、生徒総会が行われました。

新型コロナウイルス感染症状況により、例年のように全校生徒が一堂に会して行うことはできませんでしたが、各学年1クラスずつ、4回に分けて実施されました。

「このような状況だからできない」ではなく、生徒にとって必要な取組みは何か工夫して実施する。他の行事と同様、そのことが体現された総会となりました。

「自分と、クラスと、学年と向き合う時間」。形は例年とは違っていても、内容は間違いなく「住道中学校の生徒総会」でした。

皆の前で勇気をもって意見を述べてくれた生徒、その勇気に応えて返答をした生徒、発言はできなかったけれどしっかりと考え、感じる事ができた生徒、友達の見解に真剣に耳を傾ける事ができた生徒。皆の力が温かい空間と時間を創り上げました。

もちろん当日だけではなく、班やクラス、学年で話し合ったプロセスこそ、大いに意味のあるものでした。

生徒会長が「生徒総会は終わったけれど、始まりでもある」と述べてくれたように、この生徒総会の取組を通して、一人一人がより成長する、みんながさらに安心して学校生活を送ることができる、クラス・学年・学校が高まる契機になるものと確信しています。

こんな生徒総会ができる住中、まだまだ進化を続けています。



1年生：発言が多く、堂々と自分の考えを伝えることができていました。

2年生：自身を見つめ、気持ちを一生懸命に伝えようとしている発言が立派でした。

3年生：自分の経験から1年生へのアドバイスはさすがでした。

